

徳山下松港開港 100 周年記念事業実行委員会 設立趣意書

徳山下松港は、大正 11 年 2 月 10 日に特別輸出入港の指定を受け徳山港として開港し、昭和 23 年に下松港が、昭和 41 年に光港が編入され、令和 4 年に開港 100 周年を迎えます。

長い歴史の中で、多くの企業が周南地域に進出し、徳山下松港はコンビナート企業を支える工業港として重要な役割を果たしてきました。昭和 26 年の重要港湾指定、昭和 40 年の特定重要港湾指定を経て、平成 23 年には国際拠点港湾に位置付けられ、国際バルク戦略港湾に選定されるなど、国際海上輸送の拠点として日本を代表する港湾へと発展を遂げてきました。

私たちの仕事や暮らしを支え、守り続けている徳山下松港は周南地域の元気の源であり、徳山下松港発展の歴史は、周南地域発展の歴史です。

開港 100 周年という記念すべき節目を迎えるにあたり、100 周年を祝うとともに、周南地域の今後のさらなる活性化の基盤として、次の世代へ引き継ぐ大切な財産である港と海への愛着や誇りを醸成し、次の 100 年に向けた新たな港づくりへつながる記念事業を実施することは、徳山下松港に関わる国、県、周南市、下松市、光市及び関係機関の大切な役割です。

記念事業を通して、周南地域の発展を支えてきた港の歴史や魅力を発信し、さらに、徳山下松港の存在をクローズアップし、港と「まち」、港と「くらし」、港と「私」の関係を強くするため、令和 3 年 4 月 22 日に徳山下松港開港 100 周年記念事業実行委員会を設立いたします。

令和 3 年 3 月 26 日

徳山下松港開港 100 周年記念事業実行委員会設立発起人

国土交通省中国運輸局山口運輸支局	次長	榎野 好憲
国土交通省中国地方整備局宇部港湾・空港整備事務所	所長	近藤 拓也
山口県周南港湾管理事務所	所長	佐々井 浩之
周南市	市長	藤井 律子
下松市	市長	國井 益雄
光市	市長	市川 熙
徳山港振興会	会長	山田 多加司
徳山商工会議所	会頭	宮本 治郎
新南陽商工会議所	会頭	佐伯 哲治
下松商工会議所	会頭	弘中 伸寛
光商工会議所	会頭	藤井 勝